



△▼△ 110円を握り締め…△▼△

年長児達が社会見学の一環として「DAISO」でお買い物体験をしてきました。店内に入ると、ズラリと並ぶ品々に目を輝かせ、「どれにしようかな？」と胸を弾ませながら商品を手に取っては眺め、真剣に選ぶ姿はまるで“小さなバイヤー”です（笑）幼い子どもにとって110円は大金…この日のお買い物には、大人顔負けの大きな決断力が必要なようでした（笑）

そしていよいよレジへ！ セルフレジ初体験の子ども…バーコードを読み込ませようと商品を上下左右に振り回し、セルフレジと静かな戦いを繰り広げる様子を教師達も思わず笑みに（笑）

無事に精算を済ませ、大切に品物を抱える姿には、達成感と誇らしさが溢れていました！

🍁🍁🍁 秋の遠足～年少児～ 🍁🍁🍁

年少児達がワクワクを胸に新札幌にある「サンピアザ水族館」で秋の遠足です。

入り口をくぐると、クリオネがまるで“流水の妖精”のようにゆらりと舞、子ども達の目は早くもキラキラに（笑）

タツノオトシゴにカクレクマノミ、淡水のピラニアや発電するデンキウナギ…珍しい生き物達に歓声が上がります。

秋のひとつき、自然の不思議と可愛い冒険が詰まった楽しい1日になりました（笑）



🍁🍁🍁 秋の遠足～年中児～ 🍁🍁🍁

年中児達は江別にある「アースドリーム角山農場」へ元気いっぱいに出発！ジャンボ滑り台に山のブランコ、ツリーハウスの天空トンネルに大興奮（笑）たっぷり遊んでお腹もペコペコ…ママの作ってくれたおにぎりに大きな口でかぶりつき、遠足の醍醐味「オヤツ TIME」は子ども達の笑顔で輝いていましたよ（笑）

小さな冒険者達が秋の空と遊具の魔法に包まれて、思い出いっぱいの1日を過ごしましたあ～（笑）



来週18日は、つぼみぐみの子ども達が新札幌にある「ファンタジーキッズリゾート」で親子遠足を、19日（金）日は、年長児達が西区にある「白い恋人パーク」でクッキー作り体験を…楽しい思い出という“宝物”を作りに行きます（笑）お楽しみに！

幼児期に高まる「感情の制御」

「マシュマロ・テスト」という実験をご存知ですか？！ 1960年代にアメリカの心理学者、ウォルター・ミシェルによって行われた有名な研究です。内容はとてもシンプルで、4歳前後の子どもを対象に、一つのマシュマロを机の上に置き、「今すぐ食べてもいいけど、15分我慢できたら“もう一つ”あげるよ！」と伝え、子どもがどう行動するかを観察しました。

この時、すぐに食べてしまう子もいれば、机に顔を伏せたり歌を歌ったりしながら必死に我慢する子もいました（笑）研究者が長期的に追跡したところ、この「待つこと！」ができた子は、学業成績や社会生活、人間関係の面で良い結果を残す傾向が分かってきました。つまり、幼い頃に培われる「自制心」や「待つ力」は“将来の人生に大きな影響を与える可能性がある”ということが示されたのです。

ただしこれは、「我慢できる子が良い」「我慢できない子はダメ」という単純な話ではありません！マシュマロ・テストの本質は、“欲望をコントロールする力”“将来のために今を調整する力”を幼児期からどう育てていくかにあります。5・6歳の子になると「食べちゃダメ！後で2個貰えるから…」と、小さな声で自分に言い聞かせたり、「フワフワの雲」に例えて倍以上の時間が待てる子もいるそうです。空想の力で乗り切るというのは、楽しい方略で、想像力を用いた非常に知的なものです（笑）

子どもにとって「我慢」は簡単なことではありませんが、大人が環境を整え、寄り添いながら少しずつ経験を積むことで、無理なく育まれていくのです。

幼稚園での集団生活は、その積み重ねの場でもあります。教師の「もうちょっと待とうね」という声掛けの中で、子ども達は自然に気持ちを切り替える方法を学んでいきます。

さらに最近の研究では、家庭や周囲の大人への信頼関係も影響することが分かってきました。信頼できる大人の言葉であれば、「待った方がいいことがある！」と子どもは感じ、安心して我慢ができるのです。保護者の方の「大丈夫だよ！」「もう少し待ったら楽しいことがあるよ！」という言葉掛けは、子どもにとって大きな力になるのです。

私達大人が子ども達に伝えなければならないことは「我慢は辛いこと」ではなく、「待つことでより良い未来が開ける！」という実感です。

その積み重ねが、努力する意欲や困難に立ち向かう力に繋がります。幼児期には、自分の感情を知的な力で抑制する力が育っていきます。「感情の制御」は幼児期から高まることで、その力を高めることは私達大人の大切な役割です。

子ども達がこれからの人生を生き抜くために必要な「心の力」をしっかりと考えあげて下さい！

溶連菌をはじめとする感染症でお休みをするお友達が増えています。

登園前にお子さんの体調を確認して、体調に不安がある場合は登園を控えるようにして下さい。